2024 年度 総合研究所特別研究員 研究活動報告

氏名	渡 勇輝
研究テーマ	柳田国男の神道論と南島談話会の学知ネットワーク
研究概要	本研究は、柳田国男が主宰した南島談話会に注目することで、近代の知識人たちが沖縄の信仰をどのように位置づけなおそうとしたのかを明らかにするものである。とくに、知識人たちの神道論に注目し、近代日本における神道の列島外への展開をとらえる。

1. 研究活動の概要と研究成果	2024 年度は、南島談話会の開催状況をまとめ、議論の内容や参加者の相互関係性を分析した。座談会としての性格や、金城朝永の編集能力など、研究会の特徴が明らかになり、今後の研究の基盤を整えることができた。また、立命館大学の田中聡氏と協力し、2024 年 8 月に沖縄の史跡、民俗の現状について調査を行った。研究の概要については、佛教大学 Open Research Weeks 2024 で紹介している。
2. 学術論文・学会発表等	<p>[発表]</p> <p>単「柳田国男の神道論と南島談話会の学知ネットワーク」(2024 年 11 月、佛教大学 Open Research Weeks 2024)</p> <p>単「1930 年代の郷土教育運動と神社論——郷土教育連盟の機関誌を中心に」(2025 年 3 月 15 日、北九州市立大学)</p>
3. 競争的資金等への応募と採択	<ul style="list-style-type: none"> ・2023 年度科学研究費(研究活動スタート支援)「近代日本における南島神道論をめぐる学知ネットワークの研究」(採択期間 2023 年 8 月～2025 年 3 月) ・2025 年度科学研究費(若手研究)「近代日本における列島南北と中央の学知ネットワークによる神道像の形成」(採択期間 2025 年 4 月～2028 年 3 月)
4. 今後の課題	南島談話会の整理を進めるなかで、北海道や東北、台湾の知識人との交流を確認することができ、南方の研究のみでは不十分であることがわかってきた。柳田国男は同時代に北方文明研究会も主宰しているため、南北の両面から引き続き分析を進めていきたい。